

平成 27 年度 行政経営方針のポイント

1 基本的な考え方

(1) 第六次総合計画改訂版の推進

- 多様化・高度化する行政課題への的確な対応が迫られている。
- とりわけ、本格的な人口減少社会への対応は喫緊の課題であり、計画期間3年目となる平成27年度は、将来にわたって持続可能な都市であるための基盤となる政策を積極的に展開することが求められる。

(2) 市政運営における重点施策の検討

目指すべき将来都市像の実現に向け、平成27年度における市政の重点施策を選定し、予算編成との連動を図ることで、「選択と集中」や「成果志向」の視点に立った先見性ある行政経営の仕組みを構築する。

2 平成 27 年度 行政経営方針

「持続可能なまちづくり」、「暮らしやすさの追求」、「歴史・文化資源の活用」の3施策を重点施策に選定し、特に力点を置いて取り組む。

市民の英知とともに、都市の魅力^{つたえ}を創造し、発信よう

重点施策 1

人口減少を見据えた「持続可能なまちづくり」を進めます

- 市街地総合再生計画の策定を契機とした「集約型都市構造への転換」
- 空き家の活用をはじめとする「新たな定住促進の推進」
- 産業振興ビジョンに基づく中小企業支援などオール前橋で挑戦する「力強い産業振興」
- 創業支援、新規就農支援、女性の活躍など「働く場の確保」

重点施策 2

市民のさらなる「暮らしやすさ」を追求します

- 少人数学級（35人学級）による「きめ細かな教育環境の整備」
- 5歳児就学前健康診査や基幹相談支援センター設置による「子育て保護者への支援」
- 「健康寿命の延伸」に向けた事業推進によるスマートウェルネスシティの実現
- (仮称) まえばし地域活動ポイントをはじめとする「共助によるまちづくりの推進」

重点施策 3

「歴史・文化資源」を活用し、都市の魅力を創造します

- 大河ドラマ「花燃ゆ」のドラマ館を拠点とする「まちなか周遊観光の推進」
- 前橋空襲70周年を契機とした前橋の歴史・文化に対する「市民意識の醸成」
- 文化振興条例や近代歴史遺産の活用による「文化のまちづくり・文化の六次産業化の推進」